Ⅲ スサノオの系譜と墓誌

◆石上神宮（いそのかみ）に伝わる御霊

奈良・天理市にある物部氏の神社。**韴霊剣、天十束剣、天叢雲剣**が奉納されていた。

布都（フツ）御魂・・・BC180 年頃：素戔嗚の父。布都御魂大神。

（岩上神社の御祭神、鹿島神社の別名「武御雷神」）

◆北方系（モンゴル/ツングース系）民族の出身で、新羅（沸流国）に住んだが、争いが多く居住を諦めて、日本海を渡り、稲佐の浜／境港付近に上陸。

◆瀬戸内側に進出を図るも、受け入れらず。やむなく出雲（雲州沼田郷）に引き返して、国造りを行う。

※この頃(BC210～)、徐福（秦国）が渡来している。

布都斯（フツシ）御魂・・BC150 年頃(188～124)：布都の息子。**素戔嗚尊（須佐之男命）**

初代の和国大王。諡号は、「神祖・熊野大神・櫛・御気野尊」

◆奥出雲の遠呂智族（おろち）を倒し、八雲の櫛稲田姫（くしなだ）と結婚、饒速日を儲ける。山陰、若狭、北陸方面の豪族を支配し、豪族の連合体による和国（わこく）を出雲に建国する。

◆晩年に、饒速日を連れて、北九州に遠征。

宇佐（大分）で、伊邪那岐・伊邪那美の娘である向津姫（むかつ）と誓約（うけい）を結ぶ。（向津姫は、のちに「天照大神」。）

南九州を遠征し、西都原（宮崎）を支配下におさめる。

参照：建国の始祖王須佐之男系図.pdf

布留（フル）御魂・・・BC120 年頃(146～81)：須佐之男命の三男。**大歳尊（饒速日）**

諡号は、「天照・国照・彦・天火明・櫛・甕玉・饒速日尊」。

別名は、大物主櫛甕玉大神。（大和国建国の祖）

大神（おおみわ）神社・大和（やまと）神社の御祭神。

◆須佐之男命と共に北九州に遠征し、みやこ郡（豊前）を統治する。

天日神の娘、天道日女（あめのみちひめ）との間に、尾張氏・海部氏の祖、天香語山尊（あめのかごやま）を儲ける。

◆須佐之男命の指示により、北九州から河内郡（交野市）に遠征する。

（饒速日東征）、のちに神武東征に摺り替えられる。

東国から来ていた豪族の長脛彦（ながすねひこ）の娘、三炊屋姫（みかしきや）と結婚し、物部氏の祖、宇摩志摩治尊（うましまじ）を儲ける。

その後、生駒山・葛城山・三輪山周辺を支配下に治める。

＜参照＞日本古代原記：https:///www.syamashita.net/*

◆秦の徐福の系譜

秦の始皇帝（BC246～210）の時代に、徐福を２度、日本へ派遣。

始皇帝は、徐福を山東半島で見送った後、洛陽に帰路途中、死去（水銀中毒）。

徐福は、3000 人くらいの百工職人・童子童女を連れて、日本各地に稲作・薬草等の足跡を残す。（壱岐原ノ辻、佐賀伊万里･吉野ケ里、高知土佐、紀州新宮、東海富士など。）

中国で「秦」とは、

大秦（東ローマ帝国：ビザンチン帝国）の意味。

京都の太秦（うずまさ）も、秦氏の創建。

木嶋神社（蚕の社）には、三柱の鳥居（古代ユダヤの象徴）がある。

秦氏と月読は、松尾大社と渡月橋などで繋がる。

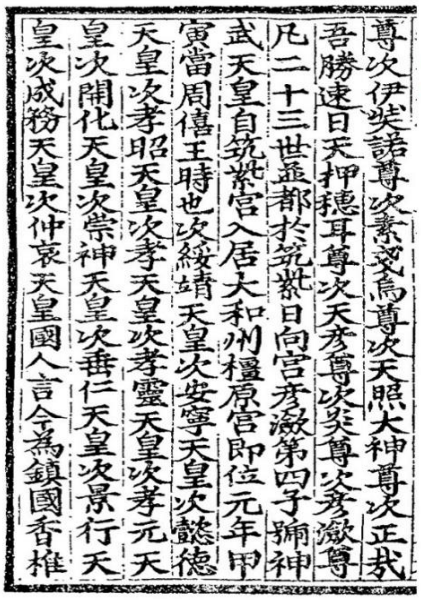
※壱岐には月読神社がある。

月読尊は、（高祖）徐福ことではなかろうか？

王年代紀

◆ 王 年 代 紀

984 年　平安時代中期に、東大寺の僧、 奝 然（ちょうねん） が、朝廷の意向をうけて、
中国の宋 朝（太宗）に持参。
紀元前の古都は九州（西都原）にあって、「王朝交代は一度も無い」、と説明した。


尊次伊奘諾尊次素戔烏尊次天照大神尊次正哉吾勝速日天押穗耳尊次天彦尊次炎尊次彦瀲尊凡二十三世並都於筑紫日向宮彦瀲第四子狹野神武天皇自筑紫宮入居大和州橿原宮即位元年甲寅當周僖王時也次綏靖天皇次安寧天皇次懿德天皇次孝昭天皇次孝安天皇次孝靈天皇次孝元天皇次開化天皇次崇神天皇次垂仁天皇次景行天皇次成務天皇次仲哀天皇國人言今為鎮國香椎

宋史　日本國（王年代紀）

雍熙元年（九八四年）、日本国の僧奝然、その徒五、六人と海に浮かんで至り、銅器十余事ならびに本国の『職員令』・『王年代紀』各一巻を献ず。

※奝然＝東大寺の僧

其年代紀所レ記云、初主號二天御中主一。次曰二天村雲尊一、其後皆以レ尊爲レ號。次天八重雲尊、次天彌聞尊、次天忍勝尊、次贍波尊、次萬魂尊、次利利魂尊、次國狹槌尊、次角龔魂尊、次汲津丹尊、次面垂見尊、次國常立尊、次天鑑尊、次天萬尊、次沫名杵尊、次伊弉諾尊、次素戔烏尊、次天照大神尊、次正哉吾勝速日天押穗耳尊、次天彦尊、次炎尊、次彦瀲尊、凡二十三世、並都二於筑紫日向宮一。

紀元前の皇位

① 天 御 中 主
— ②天 村 雲 尊 — ③天 八 重 雲 尊 — ④天 弥 聞 尊 — ⑤天 忍 勝 尊
— ⑥瞻 波 尊 — ⑦万 魂 尊 — ⑧利 々 魂 尊 — ⑨国 狭 槌 尊
— ⑩角 龔 魂 尊 — ⑪汲 津 丹 尊 — ⑫面 垂 見 尊 — ⑬国 常 立 尊
— ⑭天 鏡 尊 — ⑮天 万 尊 — ⑯沫 名 杵 尊
— ⑰伊 弉 諾 尊 — ⑱素 戔 烏 尊 — ⑲天 照 大 神 尊
— ⑳（正哉吾勝速日）天 押 穂 耳 尊 （ｱﾒﾉｵｼﾎﾐ） — ㉑天 彦 尊（瓊瓊杵）
— ㉒炎 尊（火火出見）—㉓ 彦 瀲 尊（鵜茅葺不合）—㉔ 磐 余 彦 尊 （神武）

紀元後の皇位

◆天皇の尊称　　（古事記命名）

第 1 代：神武天皇・・・神倭伊波礼琵古命
第 2 代：綏靖天皇・・・神沼河耳命
第 3 代：安寧天皇・・・師木津日子玉手見命
第 4 代：懿徳天皇・・・大倭日子耜友命
第 5 代：孝昭天皇・・・御真津日子訶恵志泥命
第 6 代：孝安天皇・・・大倭帯日子国押人命
第 7 代：孝霊天皇・・・大倭根子日子賦斗邇命
第 8 代：孝元天皇・・・大倭根子日子国玖琉命
第 9 代：開化天皇・・・若倭根子日子大毘々命
第 10 代：崇神天皇・・・御真木入日子印恵命

《 倭国大乱 》

王位：倭女王

⇩

「統一政権」

◆古代＜西洋と東洋＞の民族性

天 ・・・東洋的。天帝・天子（中国の皇帝は、同時代に唯一人。）

神 ・・・西洋的。創造主(God)（日本の八百万神は、一主多神教。）

祖 ・・・系統・種族(DNA)（漢民族の始祖「黄帝」は、想像上の祖先。）

鬼 ・・・東洋的。鬼門・怨霊（崇:たたる。崇拝:あがめる。）

魔 ・・・西洋的。悪魔(Devil)（西洋の魔女は、宗教による異端者。）